



【作・演出】モラル(劇団犬と串) 【音楽】平牧仁 【CAST】モト冬樹 海老澤健次 斉藤秀翼 清水一希 須藤深麻/板倉武志(犬と串) 瀧岡昂平(犬と串) 藤尾勤太郎(犬と串) 萩原遼郎(犬と串) 堀雄貴(犬と串) 綾乃彩 工藤さや(カムキヤッセン)/本田礼生/尾関隆 安川純平 角島美緒 奥田努(Studio Life) 他

あうるすぽっと 5月10日(水)-18日(木)

登場人物

地球連合軍

時羽奏（ときわそう）	……	モト冬樹
万里（ばんり）チョウジ	……	海老澤健次
エッフェル・トーマス	……	斎藤秀翼
多安島（たあじま）ハルオ	……	清水一希
桜田 `ファミリア、明日香	……	須藤茉麻
ガロン長官	……	満間昂平

爬虫類帝国

スネーク将軍	……	奥田努
カメレオン少佐	……	安川純平
タートル軍曹	……	尾関陸
トカゲ参謀	……	角島美緒
ヤモリ男爵	……	堀雄貴

過去の人物

過去の時羽奏	……	本田礼生
安土（あづち）ジョー	……	板倉武志

その他の人物

大五郎 …… 藤尾勘太郎

かれん …… 綾乃彩

金山力（かねやまちから） …… 萩原達郎

コモ美 …… 工藤さや

客入れ状態。

開演キュー。

舞台上に、お姉さんがマイクを持って入場。

お姉さん （客席に）皆さん、こんにちはーっ（ソワレは「こんばんはーっ」）！

お姉さん、客席のリアクションを見る。

お姉さん （その場で多少変えつつ）あれあれあれー。ちょっと、元気がないですねー。皆さん、こんにちはーっ！

お姉さん、客席のリアクションを見る。

お姉さん はい、ありがとうございますーす！本日はMMJプロデュース「昆虫戦士コンチュウジャー」にご来場いただきまして、まことにありがとうございます。開演に先立ちまして、いくつか、ご観劇にあたっての注意事項をお伝えしたいと思います。大事なことです、よーく聞いてくださいね。

恐怖の音楽が流れる。

お姉さん えっ？えっ？

見るからに悪そうな五人組が入場。

五人 ヘッヘッヘッヘッ…。

お姉さん あ、あなた達、誰！

A 俺達は、「観劇戦士・マナーワルインジャー」！

お姉さん 観劇戦士…マナーワルインジャー？

B そうだ。「観劇戦士・マナーワルインジャー」だ。

お姉さん な、何て語呂の悪さ。

C (客席に) 今日のお客さんは、べっぴんさんが多いねえ。べっぴんさん、べっぴんさん。ひとつ飛ばして…リヴァイアサン！

五人、海の怪物になって暴れ出す。

お姉さん あなた達、何しに来たの。

D ああん？お客さんに、間違った観劇のマナーを伝えに来たんだよ。

お姉さん ちょっと、やめなさい。

E うるせえ、どいてろ！

お姉さん　　キャアツ！

A　　一つ。上演中、携帯電話は使いたい放題だ。メールは勿論、電話したっていいんだぜ。

B　　二つ。上演中のおしゃべりは自由だ。皆、思う存分しゃべってくれ。

C　　三つ。写真撮影は大歓迎。フラッシュを焚いてくれたら、なお嬉しいぞ。

D　　四つ。好きな時に、好きなものを食べてよし。匂いなんて気にするな。

E　　五つ。この劇場の、上の階は図書館だ。帰りに一人十冊、本を勝手に持って帰ること。

お姉さん　　い、いけない。このままでは、お客さんに間違った観劇マナーが伝わってしまう。助けて、コンチュウジャー！

しかし、何の反応もない。

お姉さん　　駄目だ。私一人の声じゃ届かない。（客席に）皆さん、助けてください。私が「せーの」と言ったら、大きな声で「コンチュウジャー」と叫んでください。皆さんの力が必要なんです。いきますよ、せーの！

お客さんの声。

お姉さん　　…なめてんのか！「初演の方が盛り上がった」って言われるぞ！もっと、大きな声で！いきますよ、せーの！

お客さんの声。

お姉さん 惜しい、あとちょっと！最後にもう一回、出せる限りの声を出しましょう！いきま
すよ、せーの！

お客さんの声。

音楽。

かっこいい感じで、コンチュウジャー五人のシルエットが浮かび上がる。

A やべえ、昆虫戦士コンチュウジャーだ。

B くそ、ずらかるぞ！

悪い五人組、退場。

お姉さん コンチュウジャー、来てくれたのね。

コンチュウジャーの声が、スピーカーから響き渡る。

チョウジ ああ。ご観劇の際の注意事項は、俺達にまかせろ！

お姉さん ありがとう、コンチュウジャー。後は、よろしく願いしまーす！

お姉さん、退場。

チョウジ 一つ。携帯電話は、電源からお切りください。

トーマス 二つ。上演中の私語はお控えください。

ハルオ 三つ。写真や動画の撮影は禁止です。

明日香 四つ。劇場内での飲食はご遠慮ください。

奏 五つ。図書館は、正しく利用しよう！

チョウジ それでは、いよいよ開演いたします。どうぞ最後まで、ごゆっくりお楽しみください。そうだろ、みんな！？

M0。暗転。

M0とクロスして、サイレンの音。続いて、あちこちから爆発音。

明転。舞台上にスネーク将軍。

スネーク 地球の人間達よ、ご機嫌うるわしゅう。今日からこの星は、我々が支配させて頂く。全軍、かかれえ！

ナレーションが流れる。

ナレ 2XXX年。地球に突如、宇宙からの侵略者・爬虫類帝国が襲来した。人類は地球連合軍を結成して立ち向かうも、スネーク将軍率いる爬虫類帝国の圧倒的な力の前に、徐々に追い詰められていく。絶体絶命のピンチを迎えた地球連合軍は、最終作戦として、秘密裏に五人の若者を集めたのだった。

地球連合軍基地

別空間に明かり。地球連合軍基地。

舞台上にガロン長官、万里チョウジ、エッフェル・トーマス、多安島ハルオ、桜田ミファミリア、明日香、過去の時羽奏。一同、緊張の面持ち。

ガロン 諸君。まずは、一年間に渡る厳しい訓練、ご苦労。優秀な軍人でも三日で逃げ出すと言われる過酷なプログラムに、今日までよく耐えてくれた。

チョウジ ガロン長官。早く俺達を、爬虫類帝国の怪人と闘わせてください。愛するこの地球は、俺たちが必ず守ってみせます。そうだろ、みんな!?

頷く四人。

ガロン まあ、待て。いくら諸君が優れた人間であっても、そのままの姿で敵と戦うことは出来ないだろう。この一年間の訓練は、これから実行される計画の前段階に過ぎない。「昆虫戦士コンチュウジャー計画」のな。

トーマス 昆虫戦士…

ハルオ コンチュウジャー計画？

白衣を着た研究者、三角フラスコが五つ乗ったワゴンを押してくる。

全員に渡して退場。

明日香 これは…。

ガロン それは、最新の科学技術で昆虫より抽出した、ハイパーコンチュウエキスだ。これを飲んだ人間は、昆虫戦士コンチュウジャーに変身することが出来る。その身体能力は、実に生身の人間の100倍。

チョウジ なるほど。このエキスを飲んで、怪人と闘うってわけか。

ガロン ただし。ひとつだけ、この技術には問題がある。

ハルオ 何だよ、そりゃあ。

ガロン 昆虫。それは、蛹（さなぎ）の中で力を蓄え、成虫になる生き物。諸君も同じく、一度蛹にならなければ、昆虫戦士としての真のパワーを発揮することは出来ないのだ。

チョウジ ちょ、ちょっと待ってください。それじゃあ、その間地球はどうなってしまうんですか。

ガロン 安心したまえ。蛹とは言っても、ほんのわずかの期間の話だ。その間、何があっても我々地球連合軍が、爬虫類帝国を食い止める。

ジョー そういうことだ。

安土ジョー、入場。ライフルを背負っている。

チョウジ ジョー…。

ガロン そう。諸君と共に一年の訓練を受けた、安土ジョー。彼には昆虫戦士としてではなく、生身の兵士として最前線で戦ってもらおう。

ジョー 下らない心配してねえで、安心してそいつを飲めよ、後のことは、俺たちに任せろ。

チョウジ …わかりました。ガロン長官、地球を頼みます。ジョー、死ぬんじゃねえぞ。

ジョー バーカ。誰に言ってんだよ。

チョウジとジョー、固い握手を交わす。

ガロン 万里チョウジ。君の昆虫モデルはカブトムシだ。コンチュウジャーの中でも、最強のパワーを誇る。

チョウジ はい。

ガロン エッフェル・トーマス。昆虫モデルはアゲハチョウ。自由自在に風を操る、華麗な戦士だ。

トーマス フ…了解。

ガロン 多安島ハルオ。昆虫モデルはハチ。強力な毒入りの弾丸を放つガンマンだ。

ハルオ 任せとけ！

ガロン 桜田 `ファミリア、明日香。昆虫モデルはテントウムシ。どんな場所も、まばゆい光で照らすことができる。

明日香 分かりました。

ガロン 時羽奏。昆虫モデルはトンボ。そのスピードは、コンチュウジャーでも一番だ。

過去奏 え、あ、はい。

ガロン さよならは言わない。また会おうと信じているからな。さあ、ハイパーコンチュウラボで、そのエキスを飲むのだ。

五人 はい！

五人、退場していく。

ジョー いいんですか、ガロン長官。あんな、口からでまかせを。

ガロン 何？

ジョー 知ってるんですよ、俺は。コンチュウジャー計画の、極秘資料を見てしまいましたからね。

ガロン …そうか。

ジョー ハイパーコンチュウエキスは、過去に例のない最新技術。一体どのくらいの期間蛹になるのかは、誰も予測できない。違いますか。

ガロン ありのままを話せば、あいつらは今すぐ戦うと言って聞かないだろう。なんとしてでも、あの五人にはコンチュウジャーになってもらわねば困るのだ。

ジョー …はい。

ガロン 安土ジョー。お前としても、コンチュウジャーに選ばれず、納得出来ない部分もあるだろう。しかし…

ジョー やめてください。俺だって認めてますよ。あの、四人のことは。

ガロン 四人、か。…やはり、時羽奏のことは認められないか。

ジョー どうでもいいじゃないですか、そんな話は。コンチュウジャーに選ばれなかった以上、俺のやることは一つ。この体一つで、爬虫類帝国の奴らを叩き潰すのみです。

ガロン ああ。地球のために、命を懸けて戦おう。昆虫戦士、コンチュウジャーが目覚める、その日まで。

不思議な効果音（時の流れ？）。

暗転。

ナレーションが流れる。

ナレ こうして、万里チョウジたち五人の若者は、ハイパーコンチュウエキスを飲み、蛹
となった。完全なる昆虫戦士となるその日まで、彼らは眠り続けた。そして、いくつ
もの昼と夜を超え、無限とも思える時間が過ぎた時。ついに彼らに、目覚めの時がや
って来たのだ。

羽化！

音楽。

明転。

カッコいい感じで入場してくるコンチュウジャーたち。

しかし時羽奏だけ、おじさんになっている。が、特に誰もそのことに触れない。

音楽アウト。

チョウジ　これが、完全なる昆虫戦士コンチュウジャーの姿。

トーマス　体中から、力が漲ってくる。

ハルオ　すげえ。これなら、爬虫類帝国のヤツにも負けねえ。

明日香　全員で、力を合わせて闘いましょう。

チョウジ　…カブトブロー！

チョウジ、大きくパンチを出す。ドン、というすごい空気が震える音。

一同　おおお…。

トーマス　アゲハウインド！

トーマス、舞台上に風を起こす。

一同 おおお…。

ハルオ ビーリボルバー！

ハルオ、腰から拳銃を抜き、ドンドン、と撃つ。

一同 おおお…。

明日香 テントウフラッシュ！

明日香、舞台上をビカビカと光らせる。

一同 おおお…。

奏 ヤゴチョップ！

奏、ごく普通のチョップ。

一同、戸惑う。

チョウジ …えっと、あの。

奏 ヤゴチョップ！

トーマス ヤゴチョップじゃなくて。

明日香 誰…ですか？

奏 皆、久しぶり。やっと、全員揃ったな。

ハルオ だから、誰なんだよ。

奏 いや、俺だよ、俺。トンボの昆虫戦士、時羽奏。

チョウジ は…

四人 はあ！？

四人、顔を見合わせる。

チョウジ (手を挙げて) 万里チョウジ。

トーマス (手を挙げて) エッフェル・トーマス。

ハルオ (手を挙げて) 多安島ハルオ。

明日香 (手を挙げて) 桜田 `ファミリア、明日香。

奏 (手を挙げて) 時羽奏。

四人 いやいやいやいや。

ハルオ おかしいだろ。

トーマス 時羽奏って。

明日香 ただのおじさんじゃん。

奏 あー。俺、蛹になれなかったんだよね。

チョウジ はい？

奏 だからさ。俺、トンボのエキス飲んだじゃん。で、ヤゴってのが、トンボの幼虫なんだけどさ。ちょっと、図で説明しようか。

ヤゴがトンボになるまでを説明したパネルが出て来る。

奏 これが、ヤゴがトンボになるまでの図ね。で、で、俺も全然知らなかったんだけど、トンボって、不完全変態で蛹にならないんだな。分かる？これ（ヤゴ）が、このままこう（トンボ）。だから、皆が蛹になっている間、普通に起きて、歳とって。

明日香 じゃあ、もしかして…

奏 そうです。アタスが、ヤゴのおじさんです。

四人 ズコーツ！

四人、ずっこける。パネル、退場。

トーマス そんな、馬鹿な。

奏 いや、本当にそんな馬鹿なだよ。世界連合軍とか言って世界中のエリート集めて、なんで誰も、ヤゴが蛹にならないことに気付かないんだよ。

ハルオ おい、チョウジ。本当に、奏なのか？

チョウジ いや…正直、分からんとしか。

奏 まあ、そうなあ、分からんよなあ。何たって、三十年だもんなあ。

四人 三十年！？

奏 そうだよ。さすがに、もうちょっと早く成虫になると思ってたらさ。

明日香 私達、三十年も眠ってたの？

奏 だから、そう言ってるじゃん。いやー、長かった。

チョウジ なんてことだ。

トーマス じゃあ、その。闘いは、一体。

ハルオ え？

トーマス 三十年が経った今、人類と爬虫類帝国の闘いはどうなっているんでしょうか。

ハルオ ああ、そうだよ。まさか、俺たち以外的人类は…

奏 いや、生きてるよ、みんな。普通に。

明日香 本当？

奏 まあ、うん。

チョウジ じゃあ、俺達人類は勝ったのか。

奏 あー、いや、そうとも言えないっていうか。

トーマス どういうことですか。

奏 つまりはまだ、なーんか、闘いは続いている。

ハルオ なーんかって、何だよ。

奏 いや、だからそれは…

突如、ゴロゴロゴロ、という雷の音。

スネーク将軍の音が響き渡る。

スネーク フッフ…ついに蘇ったようだな。昆虫戦士コンチュウジャーの諸君。

ハルオ こ、この声は。

チョウジ 爬虫類帝国総司令官…スネーク将軍！！

不穏な音楽。

スネーク将軍、入場。

チョウジ 出たな。

スネーク 三十年ぶりだなあ。

明日香 こっちの見た目は、全然変わってないけど。

スネーク フッフッフッ、爬虫類帝国は、宇宙でも有数のアンチエイジング国なのだ。目覚めてそう
そう悪いが、この場で全員死んでもらうとするか。

チョウジ おもしれえ。俺達コンチュウジャーの力を見せてやる。そうだろ、みんな！？

頷く三人。

奏 いや、待ってくれ。ここは、俺が闘う。

チョウジ え？

奏 見ててくれよ。俺だって伊達に三十年間、戦い続けて来た訳じゃないってことを。

チョウジ 奏…。

スネーク フン。…行くぞ！

バトルのかっこいい音楽。

奏とスネーク、雄たけびを上げて対峙する。

しかし、パンチを打とうとした奏、悶絶する。

奏 あたた…。腰がイッた…。

四人 ズコーッ！

明日香 オッサンじゃん。

スネーク フ、死ねえ！

スネーク、キックを打とうする。しかし、やはり悶絶。

スネーク あ…足つったあ！

四人 ズコーッ！

ハルオ こっちもオッサンかよ。

奏とスネーク、何とか立ち上がって、とんでもなくヌルい殺陣を繰り広げる。

明日香 遅っそ！

ハルオ 何なんだよコレ！

トーマス なんと、美しくない…。

チョウジ もういい。俺が一撃で決着をつけてやる。行くぞ、カブトブロー！

チョウジ、技を繰り出そうとする。カッコいいエフェクト。

しかし突如、美大生入場。

美大生 あーもう、いい加減にしてくれよ！

音楽アウト。

四人 …え？

美大生 そこのアパートに住んでる美大生だけどさ、うるさくてデッサンが出来ないんだよ。

スネーク フン、黙れ地球人。デッサンごときで、我々の闘いに口を出すな。

美大生 何がデッサンごときだよ。まったく…これだから、芸術を理解出来ない爬虫類の連中は…

子連れ主婦、入場。

主婦 専業主婦の私としては、地球人がもうちょっと、歩み寄るべきだと思いますけど。

美大生 何だって。

主婦 地球人も、悪い人ばかりじゃないから。ゴボウ、あげる。

主婦、買い物袋から長いゴボウを取り出して、スネークに渡す。

スネーク あ、ど、どうも。

明日香 え、何。

トーマス どういうことだ？

マンチカン、入場。

マン マンチカンの立場から言うと、お互いさまって感じだニャー。

ハルオ 何か、また増えたぞ。

美大生と主婦とマンチカン、議論し出す。

スネーク　　ああ、もう、うるさい！…フン、コンチュウジャーども。どうやら命拾いしたようだな。
　　いいか、次はないと思え。

スネーク将軍、退場。

美大生と主婦とマンチカンも、ガヤガヤ言いながら追いかけて退場。

明日香　　何、これ。

奏　　だから、言っただろ。なーんか、闘いは続いている。

トーマス　　いくら何でも、グダグダじゃないですか。

奏　　こんなもんじゃないの？三十年もやってりゃさあ。それより、俺達のポーズを考えてみた
　　んだけど。（ポーズをとって）「昆虫戦士、コーン、チュウジャー」！

四人　　ださいー！

主題歌。「YES！WE CAN コンチュウジャー」。

音楽にのせてオープニング

爬虫類帝国最高幹部会

転換。舞台、薄暗い明かり。

不穏な音楽。

円卓に、スネーク将軍、カメレオン少佐、タートル軍曹、ヤモリ男爵、トカゲ参謀。

スネーク 只今より、爬虫類帝国、最高幹部会を行う。…カメレオン少佐。

カメレオン カメレオン！

スネーク タートル軍曹。

タートル タートル！

スネーク ヤモリ男爵。

ヤモリ ヤモーリー！

スネーク トカゲ参謀。

トカゲ トカーゲ！

スネーク よし、全員揃っているな。既に知っての通り、昆虫戦士コンチュウジャーが目覚めた。…しかし、その前に話さなければならないことは、一体我々はいつまで最高幹部会を、こんな中華料理屋で行わなければならないかということだ！

スネーク将軍、テーブルをドンと叩く。

音楽アウト。

舞台上に地明かり。中華料理屋である。ガヤガヤとうるさい。

スネーク おい！人間ども。今、会議中なんだ。

一瞬、シンと静まるが、再び客たち、ガヤガヤし出す。

スネーク うるっさーい！！人間ども、今すぐ出ていくのだ。さもなくばこの牙で、一人残らず
噛み殺してくれようぞ。

シャーッ、という蛇が威嚇するSE。

客たち ひーっ！

客たち、退場。

スネーク 全く…天下の爬虫類帝国が何てザマだ。大体、最高幹部会も何も、お前ら四人しかもう残
っていないだけじゃないか。

タートル まあ、それを言ってしまえば元も子もないですが。

スネーク 憎きは、時羽奏。しかもそこに加えて、四人のコンチュウジャーまで蘇ったときたもんだ
。

カメレオン スネーク將軍。あなたの右腕である、私に策があります。

スネーク カメレオン少佐。是非聞かせてくれ給え。

カメレオン 今我々が学ぶべきは、ブルーボトルコーヒーの戦略ではないでしょうか。

スネーク …ん？まあ、続けて。

カメレオン ブルーボトルコーヒーは、現地と全く変わらない味を日本に持ってきました。つまり、タスクをアウトソーシングすることへのサジェスション、あるいはアサインをペンディングしてシナジーを…

スネーク うん、意識は高いよね意識は。しかしそれっぽい言葉使ってるだけで、中身がスカスカじゃないか。

タートル では、私の作戦をお聞きください。

スネーク 頼むぞ、タートル軍曹。

タートル 題して…悪夢のミント作戦。

スネーク ミ、ミント？

タートル ミントの葉は、驚異的な繁殖力を持っています。地球人の家の庭に、一軒ずつミントを植えて回れば、やがてこの星はミントが支配する恐怖の惑星になり…

スネーク 何年かかるんだ、その計画は。カメだから、何でも長期的なんだよ。

トカゲ スネーク將軍。なぜ私の意見は聞いてくれないのですか。

スネーク いや、トカゲ参謀。こう、順番に…

トカゲ 私が女だからですか。女の意見は聞くに値しないと仰りたいわけですか。

スネーク そんなことは言ってないだろう。

トカゲ 私は一位がいいんです。二位じゃ駄目なんです。

スネーク 君は、あれだな。もうちょっと、可愛げがあった方がモテるんじゃないかな。

トカゲ スネーク將軍！今の発言の撤回を要求します。そういった意識が男性の根底にあるから…

スネーク ああ、悪かった悪かった。ヤモリ男爵、何か、意見はあるかね。

ヤモリ ないです。

スネーク ズコーツ！おいお前、少しは頭を使えよ。

ヤモリ そうですね…俺が悪いんですよね…。

スネーク あ、いや。

ヤモリ 昔からそうで…それで、ずっといじめられて…でも何も出来なくて…。

ヤモリ男爵、泣き出す。

タートル いや、まあ、元気出して。

カメレオン (スマホを出して) hey,siri.

ポン、というsiriの起動音。

カメレオン ヤモリ男爵を、励ましたい。

スネーク siriに聞くなあ！あーもう、何なんだどいつもこいつも！マトモなヤツから抜けて行って、ポンコツしか残ってないじゃないか！

店長の犬五郎、入場。

犬五郎 おいおい、スネークの兄ちゃんよお。

カメレオン 大五郎さん。

大五郎 困るよ、勝手に他のお客さん帰しちゃよう。

スネーク 人間どもの前で作戦会議など出来ん。

大五郎 もう人類だ爬虫類だって時代じゃねえだろ。俺の友達、爬虫類の嫁さん貰ったけど、幸せそうに暮らしてるよ？

スネーク そんな軟弱者の話は知らん。我々の野望は、世界征服だ。

大五郎 何でもいいけど、ここで話すなら何か注文してくれよな。

スネーク フン。こんな汚ったねえ中華料理屋で飯なんぞ食べるか。

大五郎 何だとお？

大五郎の妹の、かれん入場。

かれん ちょっと、お兄ちゃん。

スネーク か…かれんさん。

かれん 駄目じゃない、邪魔しちゃ。

大五郎 いや、こいつらが、何も注文しねえからよお。

かれん 大きな夢を持ってる人には、苦労がつきものなんだから。そうですね？

スネーク え？…ええ、まあ。

かれん ちゃんと、自分の夢を持ってる人って…素敵。頑張ってくださいね。

大五郎 ったく。お前がいつも、こいつらを甘やかすからよお…

スネーク あ、あの！…えっと、その…北京ダックと、フカヒレ下さい。

爬虫類達 はあ！？

大五郎 北京ダック、フカヒレ頂きました。

かれん シェイシェイー！

大五郎、かれん退場。

カメレオン いや、何見栄張ってるんですか。

スネーク はあ？べ、別に。

トカゲ 意味もなくカッコつけないでください。

スネーク カッコつけてねえし！全然、カッコつけてねえし！

タートル 中学生じゃないんだから。

スネーク まあまあまあ。テレビでも見て、落ち着こうじゃないか。

一同 あー！

スネーク将軍、テーブルの上のリモコンを操作。

別空間に明かり。舞台上に、司会者。

スピリチュアルな音楽。

司会 今週もはじまりました「バカンブリア宮殿」。この番組では毎週、偉大な社長が一から創

り上げた大企業を、みるみる駄目にしていくバカな二代目社長をスタジオにお招きします。本日のゲストは、日本一と言われる家電量販店、金山電機を現在みるみる駄目になっている、金山力社長です。

拍手のS E。金山力、入場。

スネーク 何なんだ、この番組は。

司会 早速ですが、金山電機の業績の変化について教えてください。

金山 はい。もう、全然駄目ですね。私が社長を継いでから、何かよくなったことは一つありません。

司会 一つも、ですか。

金山 私の目は、未来を見通さない目なんです。

司会 業績が悪化していく中で、不安などはないのでしょうか。

金山 それ、よく聞かれるんですけどね。親父が作った会社があまりにも大きいもんで、どれだけ私が間違ったことをやっても、会社は大丈夫なんですよ。

司会 なるほど。では、心置きなく、バカな経営が出来るということですね。

金山 そうということです。あ、とりあえず今、一万円あげますよ。

司会 わあ、ありがとうございます。

タートル タ…タ…タートル！！

スネーク うわっ！

タートル軍曹、リモコンでテレビを切る。

別空間の二人、退場。

タートル 許せん、許せん。

スネーク 何なんだ、いきなり。

タートル 俺はこういう、楽しんで毎日を過ごす奴が許せないんです。命を授かった以上、毎日コツコツ努力して生きるのが務めってもんじゃないんですか。

カメレオン 何か、まともなこと言ってるな。

トカゲ カメですからね。

タートル くそう、あいつ。今すぐ説教してやりたい。

スネーク しかし、そう憤ってもなあ…いや、待て。待てよ。

カメレオン スネーク将軍？

スネーク 思いついた、思いついたぞ、素晴らしい作戦を！

カメレオン それは、一体…

スネーク フッフ…あの男を…金山力を、我々の手で誘拐するのだ！

恐怖の音楽。

カメレオン な、なんと。

スネーク 奴を人質にコンチュウジャーをおびき出し、全滅させる。その後でたんまり、身代金も頂けるといふ寸法だ。

カメレオン 素晴らしい…リスケジュールと叫ばせてください。リスケジュール！

スネーク タートル軍曹。この作戦を指揮してくれるかね。

タートル 勿論です。一に努力二に努力、三四がなくて五に努力。

スネーク フフフ…目に浮かぶぞ。絶望の表情を見せる、コンチュウジャーどもの姿がなあ。フフフ…ハハハ…ハーツハツハツハツ！

一同 ハーツハツハツハツ！

一同、高笑い。しかし、やがて収まる。微妙な間。

やがて、カメレオン少佐が再び笑い始める。

カメレオン フフフ…ハハハ…

一同 ハーツハツハツハツ！ハーツハツハツハツ！

一同、再び高笑い。しかし、やがてまた収まる。微妙な間。

大五郎とかれん、それぞれ北京ダッグとフカヒレを持って入場。

大五郎 クックックツ…

かれん フフフフフ…

一同 ハーツハツハツハツ！ハーツハツハツハツ！

音楽アップ。転換。一同退場。

再び地球連合軍基地

地球連合軍基地。

バランスボールやエクササイズローラー、ボディブレードなどが置かれている。

奏、入場。

奏 さあ。入って入って。

チョウジ、ハルオ、トーマス、明日香の四人、続いて入場。

奏 ここが、現在の地球連合軍基地だ。

チョウジ いや、基地って言うか…。

トーマス 健康グッズばかりですね。

奏 俺はここで毎日、身体を鍛えている。見てろ。

奏、バランスボールに乗る。

ハルオ 大丈夫かよ。

奏 そろそろ、ガロン長官も帰って来るはずだ。

チョウジ え…ガロン長官？

トーマス まだ、お元気なんですか。

奏 ああ。ガロン長官はな、爬虫類帝国と闘うため、自らをサイボーグに改造したんだ。

明日香 ガロン長官が、サイボーグに？

奏 それも、ただのサイボーグじゃない。生物学と機械工学の粋を集めた、究極のサイボーグだ。

チョウジ 生物学と、機械工学…。

と、ガロン長官の声が響き渡る。

ガロン 諸君。久しぶりだな。

チョウジ こ、この声は。ガロン長官！

音楽。ガロン長官入場。

右手が大根、左手が大根おろしになっている。

音楽アウト。

ガロン 私の右腕は大根。そして左手は大根おろしだ。

四人 ズコーッ！

ガロン 諸君。私は、この時をずっと待っていた。完全なる昆虫戦士となった君たちが目覚める、この時をな。三十年ぶりのこの世界で、戸惑うことも多いだろう。分からないことがあれば、何でも聞いてくれ。

トーマス じゃあ、私から。一体どうやってこの三十年間、爬虫類帝国と闘って来たんですか？

奏 ん？

トーマス だって、その幼虫の身体じゃあ、昆虫戦士のパワーは出せないわけでしょう？

明日香 ああ、確かに。

奏 あー、うん。まあ、体力じゃ勝てないからねえ。ひたすら、爬虫類を就職させたよね。

チョウジ 就職？

奏 結局、地球でやることがないから、支配したいとか考えちゃうわけだろ。だから、怪人一人一人とまずは話して、何がやりたいか聞いて、で、就職させる。

ハルオ ハローワークみたいだな。

奏 時間かかっちゃうけどさ、しょうがないよな。こっちは、マトモに闘えないんだから。

ガロン 私も、右手が大根ではな。

明日香 自分でやったんでしょ。

奏 それじゃあ、皆のことも教えてよ。そうだ、改めて自己紹介しようか。

ハルオ はあ？

トーマス 何で、今更。

奏 いや、俺にしてみりゃ三十年ぶりだしさ。それに、皆も一緒に訓練してただけだし、実はお
互いのこと何も知らないんじゃないの？

明日香 それはないと思うけど。

奏 じゃあ、まあ俺から。えー、時羽奏です。今の目標は、なんとなく生まれてる皆との溝を埋
めること。将来の夢は、パイロットです。

ハルオ 間に合わねえだろ。

奏 じゃあ、皆も。

トーマス ええと…エツフェル・トーマスです。元モデルらしく、華麗に闘いたいと思います。

チョウジ え。トーマス、モデルだったのか？

トーマス ええ、はい。

明日香 え、初耳。

奏 ホラホラ。知らないじゃん、お互いのこと。さあ、ドンドン行こう。

ハルオ えー、多安島ハルオ。とにかく、俺がいれば全部大丈夫なんで、任せてくれ。

トーマス へえ、言いますね。

ハルオ い、いいだろ。ホラ、明日香。

明日香 え、私？…えっと…（かわいい声を出して）桜田 `ファミリア、明日香です。えっと…その。紅一点、頑張
りたいと思います。

ハルオ 何だよ、かわいこぶりやがって。

チョウジ だから絶対、爬虫類帝国から守ってみせる。

奏 かーらーの？

ガロン ハハハ。

チョウジ 人類が笑顔を取り戻すその日まで…

奏 かーらーの？

ガロン ハハハ。

チョウジ あーー、何なんだよ、マジで！

トーマス チョウジ、落ち着いて。

チョウジ 大体、就職って何だよ。そんなバカな話、あるわけないだろ。爬虫類帝国の怪人が、地球で普通に働くな
んて…

mamushi マムシ運送のマムシ、入場。段ボールを持っている。

mamushi どうも、マムシ運送です。

奏 ああ、はいはい。

チョウジ ……。

mamushi お届け物の…サングラスですかね。

奏 サングラス？

ガロン (奏に) 今年の夏、バリ島に持って行こうと思ってな。

奏 長官、チャライなー。

mamushi こちらに、サインを。

奏 はい、いつもありがとうね。

mamushi いやー、昔は世界征服のことしか考えてなかったんですけど、今はもう、運送業の楽しさで毎日キラキラして
ます。奏さんのおかげですよ。

奏 爬虫類帝国にいたころから、武器とか運んでる時が一番楽しそうだったもんね。

マムシ そーなんすよ。運ぶの大好きッス。じゃあ、また！

マムシ、退場。

チョウジ …いや、いるかもしれない。いるかもしれないよ、ああいうやつも。でも、だからって…

突如、エマージェンシーのSE。

ハルオ 何だよ、今度は。

ナレーションが流れる。

ナレ 緊急事態発生。金山電機社長、金山力社長が爬虫類帝国に誘拐された。繰り返す。金山電機社長、金山力社長が爬虫類帝国に誘拐された。

恐怖の音楽。

明日香 な、何ですって。

奏 あー。事件起きちゃったかー。

チョウジ くそ、みんな、行くぞ！

奏 まあまあ、そんなに急がなくても。

チョウジ 何言ってるんだよ。事態は一刻を争うんだ。

ガロン (変なサングラスを着けて) チョウジ。はやる気持ちも分かるが…

チョウジ 何だそのサングラス!

チョウジ、急いで退場。ハルオ、トーマス、明日香も続いて退場。

廃工場

地球連合軍基地。

バランスボールやエクササイズローラー、ボディブレードなどが置かれている。

奏、入場。

奏 さあ。入って入って。

チョウジ、ハルオ、トーマス、明日香の四人、続いて入場。

奏 ここが、現在の地球連合軍基地だ。

チョウジ いや、基地って言うか…。

トーマス 健康グッズばかりですね。

奏 俺はここで毎日、身体を鍛えている。見てろ。

奏、バランスボールに乗る。

ハルオ 大丈夫かよ。

奏 そろそろ、ガロン長官も帰って来るはずだ。

チョウジ え…ガロン長官？

トーマス まだ、お元気なんですか。

奏 ああ。ガロン長官はな、爬虫類帝国と闘うため、自らをサイボーグに改造したんだ。

明日香 ガロン長官が、サイボーグに？

奏 それも、ただのサイボーグじゃない。生物学と機械工学の粋を集めた、究極のサイボーグだ。

チョウジ 生物学と、機械工学…。

と、ガロン長官の声が響き渡る。

ガロン 諸君。久しぶりだな。

チョウジ こ、この声は。ガロン長官！

音楽。ガロン長官入場。

右手が大根、左手が大根おろしになっている。

音楽アウト。

ガロン 私の右腕は大根。そして左手は大根おろしだ。

四人 ズコーッ！

ガロン 諸君。私は、この時をずっと待っていた。完全なる昆虫戦士となった君たちが目覚める、この時をな。三十年ぶりのこの世界で、戸惑うことも多いだろう。分からないことがあれば、何でも聞いてくれ。

トーマス じゃあ、私から。一体どうやってこの三十年間、爬虫類帝国と闘って来たんですか？

奏 ん？

トーマス だって、その幼虫の身体じゃあ、昆虫戦士のパワーは出せないわけでしょう？

明日香 ああ、確かに。

奏 あー、うん。まあ、体力じゃ勝てないからねえ。ひたすら、爬虫類を就職させたよね。

チョウジ 就職？

奏 結局、地球でやることがないから、支配したいとか考えちゃうわけだろ。だから、怪人一人一人とまずは話して、何がやりたいか聞いて、で、就職させる。

ハルオ ハローワークみたいだな。

奏 時間かかっちゃうけどさ、しょうがないよな。こっちは、マトモに闘えないんだから。

ガロン 私も、右手が大根ではな。

明日香 自分でやったんでしょ。

奏 それじゃあ、皆のことも教えてよ。そうだ、改めて自己紹介しようか。

ハルオ はあ？

トーマス 何で、今更。

奏 いや、俺にしてみりゃ三十年ぶりだしさ。それに、皆も一緒に訓練してただけだし、
互いのこと何も知らないんじゃないの？

実はお

明日香 それはないと思うけど。

奏 じゃあ、まあ俺から。えー、時羽奏です。今の目標は、なんとなく生まれてる皆との
めること。将来の夢は、パイロットです。

溝を埋

ハルオ 間に合わねえだろ。

奏 じゃあ、皆も。

トーマス ええと…エツフェル・トーマスです。元モデルらしく、華麗に闘いたいと思います。

チョウジ え。トーマス、モデルだったのか？

トーマス ええ、はい。

明日香 え、初耳。

奏 ホラホラ。知らないじゃん、お互いのこと。さあ、ドンドン行こう。

ハルオ えー、多安島ハルオ。とにかく、俺がいれば全部大丈夫なんで、任せてくれ。

トーマス へえ、言いますね。

ハルオ い、いいだろ。ホラ、明日香。

明日香 え、私？…えっと…（かわいい声を出して）桜田 `ファミリア、明日香です。えっと…その。紅一点、頑張
りたいと思います。

ハルオ 何だよ、かわいこぶりやがって。

チョウジ だから絶対、爬虫類帝国から守ってみせる。

奏 かーらーの？

ガロン ハハハ。

チョウジ 人類が笑顔を取り戻すその日まで…

奏 かーらーの？

ガロン ハハハ。

チョウジ あーー、何なんだよ、マジで！

トーマス チョウジ、落ち着いて。

チョウジ 大体、就職って何だよ。そんなバカな話、あるわけないだろ。爬虫類帝国の怪人が、地球で普通に働くな
んて…

ママシ運送のママシ、入場。段ボールを持っている。

ママシ ども、ママシ運送で一す。

奏 ああ、はいはい。

チョウジ ……。

ママシ お届け物の…サングラスですかね。

奏 サングラス？

ガロン (奏に) 今年の夏、バリ島に持って行こうと思ってな。

奏 長官、チャライなー。

ママシ こちらに、サインを。

奏 はい、いつもありがとうね。

ママシ いやー、昔は世界征服のことしか考えてなかったんですけど、今はもう、運送業の楽しさで毎日キラキラして
ます。奏さんのおかげですよ。

奏 爬虫類帝国にいたころから、武器とか運んでる時が一番楽しそうだったもんね。

マムシ そーなんすよ。運ぶの大好きッス。じゃあ、また！

マムシ、退場。

チョウジ …いや、いるかもしれない。いるかもしれないよ、ああいうやつも。でも、だからって…

突如、エマージェンシーのSE。

ハルオ 何だよ、今度は。

ナレーションが流れる。

ナレ 緊急事態発生。金山電機社長、金山力社長が爬虫類帝国に誘拐された。繰り返す。金山電機社長、金山力社長が爬虫類帝国に誘拐された。

恐怖の音楽。

明日香 な、何ですって。

奏 あー。事件起きちゃったかー。

チョウジ くそ、みんな、行くぞ！

奏 まあまあ、そんなに急がなくても。

チョウジ 何言ってるんだよ。事態は一刻を争うんだ。

ガロン (変なサングラスを着けて) チョウジ。はやる気持ちも分かるが…

チョウジ 何だそのサングラス!

チョウジ、急いで退場。ハルオ、トーマス、明日香も続いて退場。

三十年前

サイレンの音。続いて、あちこちから爆発音。

暗転。

明転。三十年前。

安土ジョーと爬虫類帝国の怪人1、戦いながら入場。お互い一步も引かない、緊迫した戦い。

続いて、過去の時羽奏と爬虫類帝国の怪人2、戦いながら入場。奏はすでにヤゴの姿。

こちらは、ただただ時羽奏が逃げ回るといって、何とも間抜けな光景。

やがて安土ジョー、ライフルで怪人1を撃つ。爆発する怪人1。

時羽奏、頑張って怪人2のお尻を叩いたりするが、やがてピンチを迎える。

過去奏 あああー…。

ジョー、怪人2を奏から引きはがし、ライフルで撃つ。爆発する怪人2。

過去奏 うわ、怖かった。

ジョー おい、奏。少しはまともに戦えよ。

過去奏 ご、ごめんジョー。

ジョー つーか、何でお前だけ普通に起きてるんだよ。成虫になるんじゃないのか。

過去奏 いやー、トンボは不完全変態っていうね、盲点。ハハハ。

ジョー チョウジ達四人は分かるけどさ。何でお前みたいな臆病者がコンチュウジャーに選ばれた

んだよ。俺なら幼虫のままでも、もっとちゃんと闘ってみせるのに。

ガロン長官、入場。

ガロン 安土ジョー。時羽奏。無事のようだな。

ジョー (敬礼して) ガロン長官。この地域の爬虫類帝国は、殲滅いたしました。

ガロン ご苦労。今後、戦いはさらに厳しくなっていくだろう。しかし、我々は負けるわけにはいかない。人類の未来のため、爬虫類帝国を徹底的に叩き潰すのだ。

ジョー はい。

過去奏 は、はい。

スネーク将軍、入場。

スネーク 貴様ら…派手にやってくれたじゃないか。

過去奏 ス、スネーク将軍。

ジョー ほう。組織のボスが直々にお出ましか。

スネーク 最高幹部だったイグアナ博士の仇だけは、どうしても自分で取らねばならんのでな。

ジョー イグアナ博士…そうか、死んだか。

スネーク ああ。安土ジョー…お前から受けた銃弾で、三日三晩苦しんだ後にな。

ジョー それがどうした。あいつの作った毒ガスで、多くの人間が死んだんだ。

ジョー、ライフルを撃つ。しかし、弾切れである。

ジョー　　くそっ。

スネーク　　ハハハ、どうやら天は、我らに味方しているようだ。さあ、死んでもらおうか。

ジョー　　お前がな。

ジョー、ナイフを抜く。じりじりと近づく二人。

過去奏　　や…やめろ！

ガロン　　…奏？

スネーク　　何だ、貴様は。

ジョー　　奏、邪魔するな。

過去奏　　いや…だから。えっと。…何で、侵略したいんだろう？

スネーク　　…は？

過去奏　　だから、うん。そもそも、何で地球を侵略したいのかな、っていう。

ジョー　　おい、そんなことはどうでもいいだろ。

スネーク　　何だ、こいつも貴様らの仲間か。

ジョー　　知らねえよ、こんなヤツ。

過去奏　　いいじゃんか。別に、そのくらい教えてくれたって。

スネーク フン。我々の星は、進み過ぎた文明のせいで崩壊した。よって、新しい住処が必要なのだ。
。…どうだ、これで満足か。

過去奏 新しい、住処。あ、そう。うーん…。

ジョー 何なんだよ、さっきから。

過去奏 じゃあ…えっと。地球連合軍の基地を半分くらい開放して…。

スネーク 何？

過去奏 あ、いや。そんなスペースじゃ足りないから、えっと…ガロン長官の家と…

ガロン 何？

過去奏 あと、ジョーの家と…

ジョー 勝手にカウントすんなよ。

スネーク バカバカしい。爬虫類帝国に、どれだけの怪人がいると思っているのだ。誰の家にとか、
そういう問題では…

過去奏 あーもう、うるっさいなあ！そんなこと分かってるよ！

スネーク な、何だと？

過去奏 あー、だから…色々な家庭にホームステイみたいな感じにして…いや、それも違うし…

過去奏、一人で勝手に悩み始める。

音楽。

スネーク 安土ジョー。随分と、頭のおかしい仲間がいるじゃないか。

ジョー だから、こんなヤツ知らねえって言ってるだろ。

スネーク 全く…そいつのせいで、闘う気も失せた。私の気が変わらないうちに、さっさと立ち去れ。
。

ジョー はあ？ふざけるなよ。今ここで、お前を…

過去奏 え、本当？やった、ラッキー！！

ジョー おい！

過去奏 ねえジョー。帰っていいってさ。

ジョー 何言ってんだ。敵を目の前にして引き下がるなんて…

過去奏 まあまあ。助かったんだから、そんなことはどうだっていいじゃんか。

ジョー ガロン長官！

ガロン いや。…武器が使えない今、我々が不利だ。ここは一度、引こうじゃないか。

ジョー …あー…くそおおお！！

ジョー、地団太を踏む。

ジョー お前…本物のバカだな。

ジョー、怒りながら退場していく。

過去奏 あ、ちょっと待ってよ。ジョー。ジョー。

過去奏も追いかけて退場。ガロン長官も、追って退場。